



八幡市駅前活性化の グランドビジョンを質す

私は、選挙期間中、観たくなる八幡、来たくなる八幡、住みたくなる八幡をスローガンに訴えてまいりました。

観たくなる、来たくなる八幡の玄関口は、京阪八幡市駅であります。八幡市の玄関口が活気ある町かそうでないのか申すまでもありません。

昼間に京阪電車の急行が停車しないことが象徴的に物語っています。朝夕の通勤時間帯はまだしも夜8時を過ぎると仕事で遅くなったOLは、暗くて歩いて帰るのが怖いという声もよく聞きます。

八幡市の発展を考えると、まず玄関口の八幡市駅周辺をどのような町にするのか京阪電車の急行が止まり、将来的には、京阪から特急を止めさせて下さいとってくれるような駅前にするための八幡市としての壮大な目標、夢あるグランドビジョンを持つべきだと考えています。

全国に知られた石清水八幡宮の門前町として、お伊勢さんにも負けぬ活気ある八幡市駅前にするという明確なグランドビジョンを本市として、持つべきだと考えています。

観光案内所のリニューアル計画も、単なる道案内所であってはなりません。

八幡市の夢をかたり、観たくなる八幡市をイメージさせてあげられる案内所ではなくてはなりません。

本市には、エジソン、松花堂庭園、流れ橋、といった観光スポットが豊富に存在しています。

観光案内所を訪れる観光客のニーズを感じ取り、その人に合った観光マップを作ってあげられる、夢ある案内所にして頂きたいと考えています。

公衆トイレも大切です。観光スポットになるくらいのトイレ、八幡市駅前のトイレはビックリするほどきれいだったと観光客の土産話になるような、全国から視察に来るようなトイレにして頂きたいと思えます。

予算の制約もあるでしょうが、今、全国の自治体が観光客の誘致を目指してアイデアを凝らしている時代です。

宇治まで来ている観光客に、もう一歩八幡市まで足を運んでもらう為にも、案内所にしてもトイレにしても本市の広報活動と位置づけるぐらいの視点でご検討頂きたいと考えています。

駅前交番も是非、必要だと思えます。駅前交番は地元だけではなく、多くの市民の要望だと認識しています。安全安心のまちづくりのためにも一日でも早い開設を望むところです。

私の質問を要約すると次の通りです。

1. 駅前活性化のグランドビジョン
2. 駅前活性化を妨げる原因と解決策
3. 観光案内所にポリシーがあるか
4. 公衆トイレのリニューアル
5. 駅前交番の見直しについて



▶ 明田市長の答弁

鷹野議員よりいただきましたご質問にお答えを申し上げます。

まず、八幡市駅前の活性化についての基本構想でございます。

鷹野議員が以前、関わられ制作された、「八幡宮の理想の門前町」をイメージした夢のある模型を拝見いたしました。石畳の歩道、大型の鳥居など、発想豊かに町並みを創造されておられます。

市といたしましても、八幡市駅前周辺を第4次八幡市総合計画の交流拠点整備プロジェクトの一つと位置づけており、また、市民の皆さまからの強い要望により、平成21年度に八幡市バリアフリー基本構想を策定し、平成23年3月に京阪八幡市駅のバリアフリー化を実現させることができました。

八幡市駅周辺は、鉄道、広域幹線道路における市の玄関口であるとともに、三川合流周辺や男山など、自然や歴史・文化資源の面でも本市を代表する地域であり、観光案内所を始めとする環境整備と商業機能の充実を進めて行かなければならないと考えております。

現在、石清水八幡宮の国の史跡指定に向け、まい進しております。門前町として、大勢の観光客が訪れ、にぎわいのあるまちづくりを、市民の皆様と力を合わせて進めてまいりたいと考えております。

次に、八幡市駅前の活性化に対する現状と課題についてであります。

八幡市駅周辺は、淀川三川合流域と男山に挟まれ、利用面積がさほど大きくありません。本市の北玄関に相応しい石清水八幡宮や淀川三川合流域との景観形成を保全し、さらには、本市北部の広域的な交流拠点として、ターミナル機能や防災空間を持ち合わせた整備を進めていくには、民間活力によるオープンスペースを備えた建築物への建て替えや、現在お住まいになられている方々との権利関係、狭あい道路の解消など、多くの課題を克服していかなければなりません。また、財源確保の問題も大きな課題の一つであります。

今後、長引く景気の低迷や東日本大震災の復興支援による国、府からの財源や淀川三川合流部の整備計画など、八幡市駅周辺を取り巻く状況の変化を鑑みながら、八幡市駅前の活性化のための施策を検討してまいりたいと考えております。

次に、駅前交番についてであります。

これまでの京都府及び京都府警本部への八幡市駅前交番の早期設置の要望に加え、平成23年5月12日に、京都府知事並びに京都府警本部の関係者に直接お会いし、要望をしてまいりました。

八幡市駅前交番の必要性は、京都府も京都府警本部も十分認識していると、心強い返事をいただくことができました。市民の皆様からの強い要望を少しでも早く叶えることができますよう、今後も要望活動を続けてまいります。

明田市長の答弁の後、井上環境経済部長から駅前活性化を妨げる原因と課題解決について、これまでの経過を踏まえ今後の努力を強調されました。

山本都市管理部長はトイレのリニューアルについて報告がありました。